

目 次

I 序 章	頁
(1) 調査の経緯	1
(2) 調査位置	1
II 遺 跡	
(1) 調 査	3
(2) 藤原京時代の遺構	3
(3) その他の遺構	10
III 遺 物	
(1) 土器・土製品	11
(2) 屋 瓦	17
(3) 銭 貨	17
IV ま と め	19

挿 図 目 次

	頁		頁
fig. 1 調査地周辺の地形と条坊	iv	fig. 7 SB5105	7
(奈良国立文化財研究所、昭和34年測図 1/1000地形図の一部使用)		fig. 8 SE5160	9
fig. 2 調査地位置図	1	fig. 9 SK5130	10
(陸地測量部、明治41年測図 1/20000 地形図の一部使用)		fig.10 出土土器実測図Ⅰ	12
fig. 3 藤原京条坊模式図	1	fig.11 出土土器実測図Ⅱ	13
fig. 4 東区北壁土層図(東一坊大路)	3	fig.12 出土土器実測図Ⅲ	15
fig. 5 検出遺構実測図	4・5	fig.13 出土土器実測図Ⅳ	16
fig. 6 SB5101(上)、SB5102(下)	6	fig.14 出土遺物実測図	17
		fig.15 和同開珎銀銭拓影	18
		fig.16 時期別遺構配置図	20

表 目 次

tab. 1 主要建物・塀規模一覧表	10	tab.2 和同開珎銀銭法量表	18
--------------------	----	-----------------	----

図版

- | | | | |
|----------|--------------------------|----------|--------------------------|
| PL. 1 | 調査地周辺の現状（空中写真） | PL. 5(1) | 建物SB5104（西から） |
| PL. 2(1) | 西区全景（東から） | (2) | 建物SB5105（南から） |
| | (2) 東区全景（東から） | PL. 6(1) | 建物SB5161（東から） |
| PL. 3(1) | 東一坊大路SF5100（北から） | (2) | 建物SB5162（南から） |
| | (2) 溝SD5110, SD5113（西から） | PL. 7 | 出土土器 |
| PL. 4(1) | 建物SB5101（北から） | PL. 8 | 出土遺物（和同開珎銀銭、陶硯、土馬、埴輪、石鏃） |
| | (2) 建物SB5102（北から） | | |

例言

1. 本書は、橿原市高殿町字テンヤク537-1ほかにおいて実施した、藤原京左京二条一坊東北坪、同二坊西北坪の発掘調査の報告である。
2. 調査は、林住建株式会社の分譲住宅建設に伴う事前調査として、奈良県教育委員会の委嘱を受けた奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部（部長 岡田英男）が実施した。
3. 調査は、飛鳥藤原宮跡発掘調査部の藤原宮第48次調査に該当し、遺構番号などは藤原宮の調査基準に準拠した。
4. 調査は、東区と西区とにわけて行ない、調査期間は、東区が昭和61年4月7日～6月25日、西区が6月30日～8月1日で、調査面積は約2,600㎡である。
5. 調査には、主に木下正史、菅原正明、大脇潔、西口寿生、高野学が参加し、山本義孝、春日井恒の協力を得た。
6. 調査の実施にあたっては、林住建株式会社と奈良県教育委員会の協力を得た。
7. 本書の作成は、部長岡田英男の指導のもとに、調査部員全員があたり、全体の討議を経て、次のように分担して執筆した。
I; 木下正史、II・III-2・III-3・IV; 西口寿生、III-1; 西口寿生・深澤芳樹
8. 遺構・遺物・図版の写真は井上直夫が担当した。
9. 本書の編集は西口が担当した。